



表紙／あったかいご飯、待ったあ

【第49号の内容】

- | | | | |
|---------------------|---|------------------------|----|
| ● 3月定例会 | 2 | ● えびの市防災食育センター視察 | 7 |
| ● 議案審議 | 4 | ● 賛否状況 | 8 |
| ● 平成31年度予算 | 6 | ● 一般質問～9人が登壇 | 9 |
| ● 小・中学校完全給食実施 | 7 | ● 議会の主な活動（12月～2月）・編集後記 | 18 |



議員が原稿作成・編集した
議会だよりです

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2
TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサム D&P 【発行年月日】平成31年4月25日

議会会議録がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町のホームページ

<http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>

にアクセスし「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」
をクリックしてください。

平成31年 第1回 3月定例会

第一回定例会は3月4日から19日までの会期で開催し、今議会に提案された議案33件を審議し可決した。
また、平成31年度一般会計予算と特別会計予算5件を、11名で構成する予算特別委員会で審議し可決した。

人事

○農業委員会委員の任命
●委員の任期満了に伴い任命することに同意。

- ・小林 宏さん (横田)
- ・内川 正良さん (下中杖)
- ・荒木 清隆さん (田中)
- ・城島 訓浩さん (田手宿)
- ・江口 啓予さん (田手村)
- ・木下 大学さん (吉田)
- ・原武 学さん (萩原)
- ・中村 佐代子さん (下三津西)
- ・大坪 敏博さん (上石動)

条例改正

- ・中村 榮恵さん (下三津西)
- ・森田 利光さん (坂本)

○町放課後児童クラブ条例

※三田川放課後児童クラブ及び東脊振放課後児童クラブの開設に伴い、その設置及び管理について規定する必要があるため。



児童クラブでの子ども達

○東脊振地域産物加工販売施設維持整備基金条例

※東脊振地域産物加工販売施設の維持整備に要する資金に充てるため。



さざんか千坊館

○町課設置条例及び町職員定数条例の一部を改正する条例

※機構改革による機能的な行政運営を行い、住民サービスの向上を図るため。

○町に組織する附属機関の委員の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例

※町に組織する附属機関の委員を見直すため。

○町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

※一般職の職員の給与に関する法律に基づき、支給する通勤手当及び管理職員特別勤務手当を見直すため。

○町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

※災害弔慰金の支給等に関する法律施行令の一部改正する政令の公布に伴い、災害援護資金の貸付け条件を改定するため。

○町国民健康保険条例の一部を改正する条例

※国民健康保険の広域化に伴い、保険税率が一本化されるまでに県内の他市町と事務の統一化を図るため。

○町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例等の一部を改正する条例

※専門職大学の制度が創設されることにより、資格基準を定める規定等の整備をする必要が生じたため。

○町消防団の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例

※消防団に支援団員を新たに設置するため。



消防団入退団式

委託

○町三田川健康福祉センター及び町民憩いの家の指定管理者の指定

※指定管理者
吉野ヶ里町社会福祉協議会（伊東正之（会長））
※指定期間
平成31年4月1日から34年3月31日まで

補正予算

○一般会計補正予算

※歳入歳出それぞれ96億86万6千円を追加し、予算の総額を93億4951万3千円とする。

※歳入の主なもの

- ・減額となったもの
農林業費分担金
- ・増額となったもの
住宅使用料
- ・増額となったもの
障害者福祉費負担金
- ・増額となったもの
災害復旧事業債
- ・ふるさと応援寄附金
- ・利子及び配当金
- ・雑入

※歳出の主なもの

- ・減額となったもの
ふるさと応援返礼品
- ・農業総務費
- ・非常備消防費
- ・増額となったもの
ふるさと応援基金
- ・公共施設建設基金
- ・財政調整基金
- ・児童措置費
- ・水源地域振興基金
- ・合併振興基金



プレミアム商品券

○10月の消費税10%への引上げにプレミアム付商品券販売

※これは低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として販売

・購入対象者

(1) 2019年度住民税非課税者

(2) 3歳未満の子が属する世帯の世帯主

・購入限度額

(1) の該当者は券面額2万5千円

(2) の該当者は券面額2万5千円×3歳未満の子の数

・割引率

20%（プレミアム補助額5千円）

・販売までの予定

2月～夏頃 対象者リストを作成

7月～8月 該当者への個別広報、購入希望申請受付、審査

9月頃～購入引換券発送

10月～商品券販売

○国民健康保険特別会計補正予算

※歳入歳出それぞれ25



河原橋上流の現場

64万4千円を追加し、予算の総額を16億7811万4千円とする。

○下水道特別会計補正予算

※歳入歳出それぞれ7520万3千円を減額し、予算の総額を7億8072万2千円とする。

○後期高齢者医療特別会計補正予算

※歳入歳出それぞれ195万6千円を減額し、予算の総額を1億8238万4千円とする。

急ピッチで進む復旧工事



町民憩いの家



三田川福祉センター

平成31年度一般・特別会計予算

予算特別委員会は3月4日、定例会において付託され、吉野ヶ里町一般会計予算、特別会計予算5件を、3日間にわたり審議を行い、原案どおり可決すべきものと決した。

予算特別委員会 委員長 古川清春

一般会計予算

歳入

町税 町民税（個人・法人）は前年度より4599万円の増額で10億2905万円。固定資産税は前年度より3926万円の増額で10億170万円。町税全体では9429万円の増額で22億2650万円となる。

地方交付税 前年度より4173万円の減で19億6878万円となる。

国庫支出金 国庫負担金は民生費で3639万円の増額、国庫補助金は民生費で214万円の減額、土木費で3033万円の減額、商工費で2110

万円の増額などにより、国庫出金全体では前年度より2730万円の増額で7億7691万円となる。

県支出金 県負担金は民生費で2048万円の増額、県補助金は農林水産業費で2347万円の増額、教育費で416万円の増額、県委託金は総務費で306万円の増額など、県支出金全体では5006万円の増額で5億3099万円となる。

寄付金 ふるさと応援寄付金は前年度より1億9997万円の増額で3億5010万円となる。

教育費 各小中学校の児童生徒が使用するタブレットの購入費用、それに伴う各学校の無線ラン整備などで、小学校費は1億1972万円の増額、中学校費は6221万円の増額、幼稚園費は2005万円の減額、保健体育費は中央公園野球場の整備費、学校給食費調理加工委託費、文化体育館建設工事費などで2億809万円の増額、教育費全体では、3億7787万円の増額で9億5223万円が計上されている。



整備予定の野球場

公債費 前年度より1521万円の増額で、9億

7756万円が計上されている。

『当初予算に対する議員からの主な意見』

●山茶花の湯における入湯税は長年据え置かれている為、消費税率が上がる次年度は入湯税を上げる検討をすること。

●平成31年度の当初予算額83億1000万円は、吉野ヶ里町になってから2番目に多い額である。一般財源が53億1000万円、町債が7億7000万円。今後色々な計画を挙げているが、今まで積み立てた基金を取り崩すなら長期的に財政計画を立ててから行うべきである。

●平成32年度末で水銀灯の製造が中止されるので、PCB照明器具調査時に合わせて水銀灯の調査も行った方が手

歳出

議会費 前年度より60万円の減額で8998万円が計上されている。

繰入金 前年度より5億5686万円の増額で7億352万円となる。

町債 前年度より2億8373万円の増額で7億7590万円となる。



ふるさと応援寄付返礼品等

総務費 ふるさと応援寄付返礼品費の伸びなどにより、総務管理費は3億1389万円の増額、徴税費は3483万円の増

額、戸籍住民基本台帳費は204万円の増額などにより、総務費全体では前年度より3億5360万円の増額で12億9668万円が計上されている。

民生費 社会福祉費は667万円の減額、児童福祉費は特定教育・保育施設型給付費負担金などにより8360万円の増額、民生費全体では、前年度より7691万円の増額で23億3170万円が計上されている。

衛生費 保健衛生費は2199万円の増額、環境衛生費は神埼市・吉野ヶ里町葬祭組合負担金などにより2億3444万円の増額、清掃費は406万円の増額など、衛生費全体では、前年度より2億6050万円の増額で10億3026万円が計上されている。

農林水産業費 農業費は、里山ふれあい交流施設完成により4897万円の増額、林業費は1038

万円の減額、農林水産業費全体では、前年度より5935万円の減額で3億7346万円が計上されている。

商工費 商工業振興費はプレミアム付き商品券販売業務委託などにより2118万円の増額、商工費全体では、前年度より1696万円の増額で1億2859万円が計上されている。

土木費 道路橋りょう費は、3ヶ年計画で行う町道補修工事などにより1億2763万円の増額、都市計画費は1843万円の増額、住宅費は330万円の増額などにより土木費全体では、前年度より1億5324万円の増額で7億5345万円が計上されている。

消防費 消防車両購入費用などにより、消防費全体では、前年度より582万円の増額で3億5091万円が計上されている。

特別会計予算

国民健康保険

前年度より895万円の増額で16億2878万円が計上されている。

下水道

前年度より6040万円の増額で8億2864万円が計上されている。

簡易水道

前年度より75万円の減額で281万円が計上されている。

後期高齢者医療

前年度より150万円の増額で1億8290万円が計上されている。

工業用地造成事業

前年度より8187万円の増額で8187万円が計上されている。

間も省けるのではないが。

●町長交際費は、色々な事業の情報等を収集するために、減額するのではなく有効に活用するべきである。

●長寿祝い金が、他市町より回数も多く、単価も高い。喜寿・米寿・白寿などの記念日ぐらいにしておかないと、団塊の世代が直ぐに来て大変な額になる。今までやっていたからではなく、この辺で英断すべきではないか。

●災害救助費の消耗品に、医薬品も購入して備蓄しておく必要があるのではないか。



災害備蓄品の一部

●小中学校のICT教育は、計画に沿った年度での購入にするべき。無線LAN工事のみ31年度で行い、児童生徒用600台のタブレットの購入は、32年度からすべき。

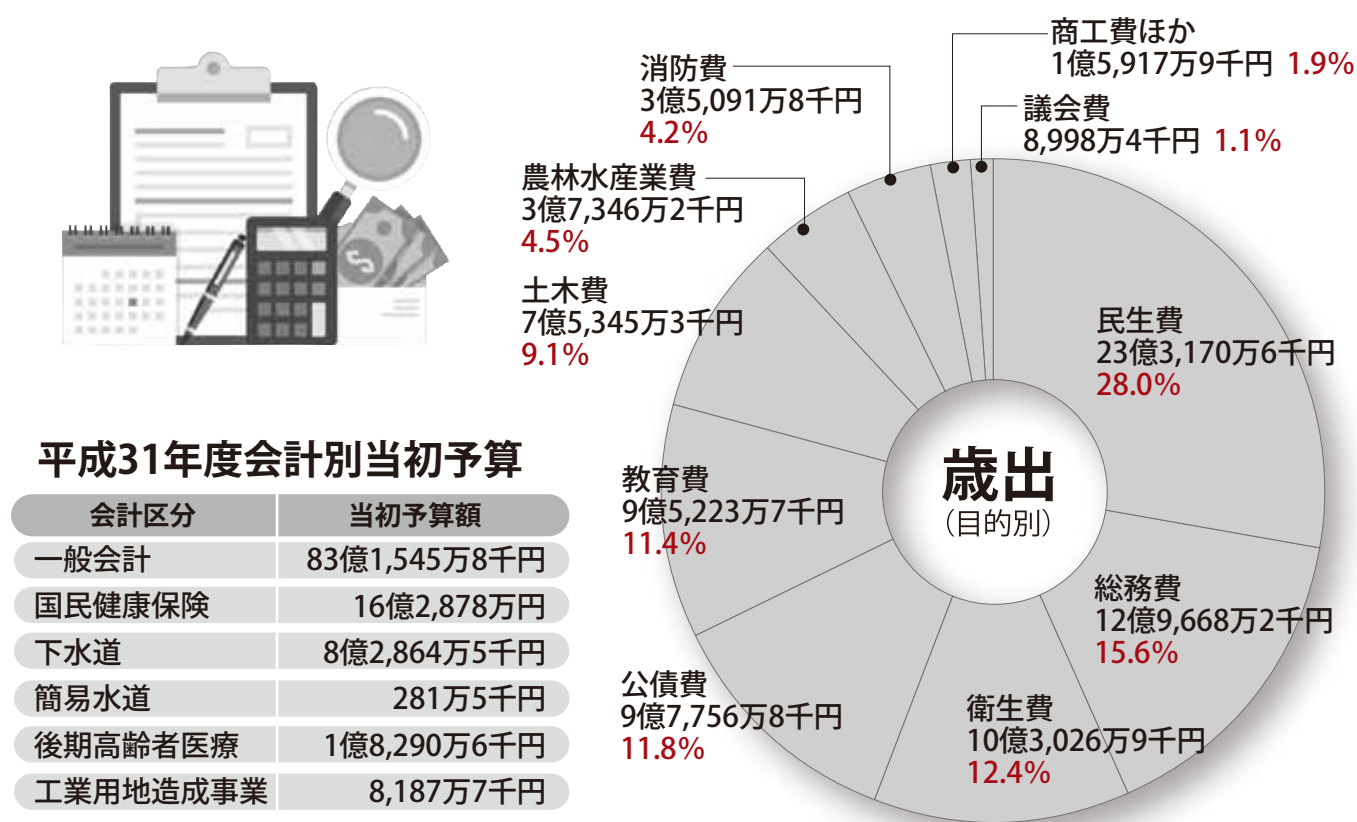
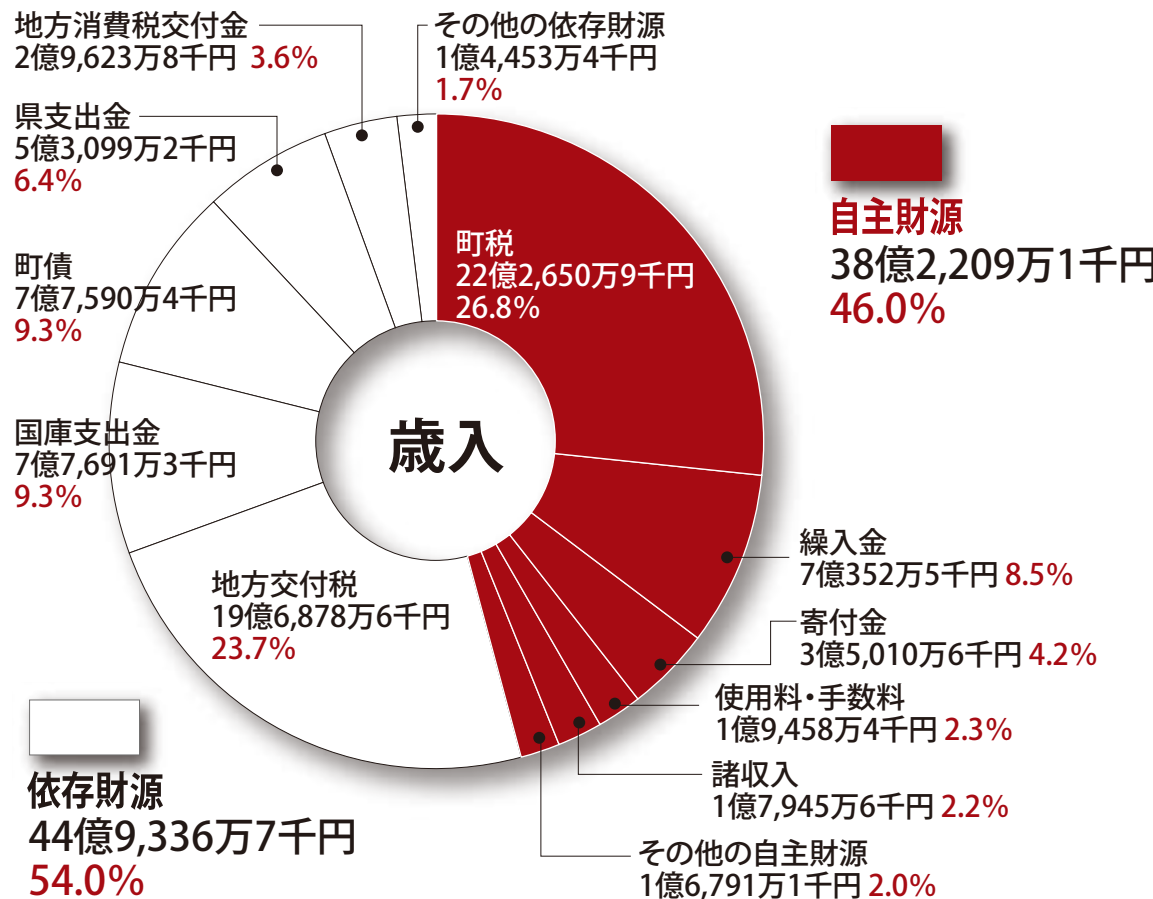


現在のタブレット

●学校給食の米飯はランチボックスで提供されるが、体格の良い生徒はご飯が足りないと思う。足らない児童生徒は、今まで通りご飯を持参して良い事にするのか今後検討して欲しい。

●県内で初めての認知症個人賠償責任保険は、認知症の方が事故を起こし、家族が賠償責任を問われた場合、町が

平成31年度吉野ヶ里町一般会計予算 83億1,545万8千円



平成31年度会計別当初予算

会計区分	当初予算額
一般会計	83億1,545万8千円
国民健康保険	16億2,878万円
下水道	8億2,864万5千円
簡易水道	281万5千円
後期高齢者医療	1億8,290万6千円
工業用地造成事業	8,187万7千円

完全給食はじまる

平成31年4月9日より、待望の完全給食（ご飯付き学校給食）が開始された。当初1年間は政府備蓄米（平成30年度佐賀県産産米）を使用している。

成長期の子どもに米飯の摂取は欠かすことができず、次年度以降も完全給食の実施は継続していく。



●温かいご飯をほつばる児童たち



議員もともに給食を味わう



初回の米飯はタケモノご飯

町議会では実施直後の4月10日に東脊振小学校において児童とともに給食を喫食した。初回という事でメニューは旬のタケノコを使った味であった。温かいご飯とともに給食を頂く喜びを児童とともに我々も味わった。

えびの市防災食育センター視察研修報告

2月20日、宮崎県えびの市にて防災食育センターの視察に伺った。学校給食施設の建設は、喫緊の課題である。建設を検討するにあたり防衛省の補助事業を活用した「防災食育センター」という給食センターが全国で7件ほど建設されている。

目達原自衛隊を誘致する本町において、佐賀北縁断層帯由来の地震、豪雨災害等の有事に対して炊き出し機能を備える給食センターの樹立を目指していければと考え、急きょ日帰り強行軍にて視察を実施した。

昨年8月に開設した、えびの市防災食育センターの概要は、
・総事業費 14億8千万円
（内 11億円は防衛施設整備周辺民生安定施設整備事業を活用）



えびの市のノウハウを学ぶ議員団

・給食実施数（完全給食） 1549名
・施設運営費 年間8000万円
・給食費（保護者負担額）
小学校 219円
中学校 259円
（一食当たり）

であり、給食実施数は本町と非常に近い。

本事業は非常にハードルが高いにも関わらず、短期間で事業採択へとつながった要因は、元来、給食センター更新計画を策定していたことや、駐

屯地、演習場、VLF送信所とを誘致するなど自衛隊との深い関係性も起因している。

さらに、防災食育センター周辺の公共施設を災害有事には避難所、救護所、食料備蓄庫、燃料倉庫、ヘリポートなどへと用途を追加し、防災拠点とした事も要因である。

学校給食センター問題を通じて、自衛隊の町としての本町が果たすべき役割の大きさを痛感した。



●えびの市防災食育センターにて

3月

※議席番号順 ○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席 一＝議長は議決に加わらない

町政にももの申す



【環境課長】

上三津西地区と企業との間で環境保全協定が結ばれている



質問

 答弁



答弁

質問

山ダム側に埋設処理されている、2・4・5T系除草剤は、想定外の大雨、想定外の地震が起きれば、ダイオキシンがダム湖に流れ出す。

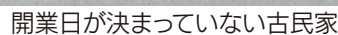
 答并

 答并

質問

定と報
答弁

装されたが、いつ開業されるのか。





にぎやかな軽トラ市

【質問】 7月より実施される機構改革で商工観光課を新設する産業振興課内に商工観光係として設置するとの事だが、合併以来本町は、国営吉野ヶ里公園を軸として、観光振興による町作

【答弁】 町長 現在数名規模の課が多くあり、課を集約する事で、事業推進が強化されると考えている。

りを推進して来たのではない。

【町長】

課の集約を図って課内全員で事業を推進する



伊東 和孝 議員

商工観光課が係で良いのか

【質問】 昨年3月に、吉野ヶ里町観光まちづくり戦略計画を策定しそれに向かって、計画を推進しているのではない

か。また、現在の農林課を名称を変え、産業振興課にしても実質業務は変わらないと思う。産業振興は、町内の事が中心であるが、観光は町外に目を向ける部署であると思う、同じ課というのが納得出来ない。

【答弁】 町長 私はそうは思わない。

農産物の販売、また現在イノシシの肉等も、商工業者を通じての販売等、関連していると思う。



三田川中学校

【答弁】 町長 現在具体的に進んでないが、まず場所の選定を議会と話し合っ決定し、基本構想を策定したいと思っている。

【質問】 町長は、30年度町長施政方針の中で統合中学校建設計画、統合庁舎建設計画などに

取り組むと言われているが、どれ位進んでいるのか。

【答弁】 町長 現在具体的に進んでないが、まず場所の選定を議会と話し合っ決定し、基本構想を策定したいと思っている。

統合中学校建設計画について

【質問】 合併してから言いつづけている、統合中学校建設に向けての検討委員会等の立ち上げを

考えるべきと思う。

【答弁】 教育長 少子化など、少人数学校を含む教育体制などの環境の変化を踏まえ、保護者等を交えた町立中学校の望ましい学校規模のあり方検討委員会を設置して

いきたい。



東脊振中学校



古川 勲 議員

7年かかる防災食育センター
その間の学校給食提供は大丈夫か

【学校教育課長】

7年もの間、学校給食の安定供給の保障はない

【質問】 統合中学校と防災食育センターをセットで同じ場所に建設する構想はないのか。

【答弁】 町長 今後、防災食育センター及び統合中学校の方向性を議論する中で、一つの案として検討する。

【質問】 まちづくり構想策定支援事業の取り組みから通常7年位かかるが、その間の給食提供は大丈夫なのか。

【答弁】 町長 事業採択を受け、防災給食センター建設が定まった折は、知恵を出し事業期間の短縮を図っていく。

【答弁】 学校教育課長 民間調理施設に学校



学校給食委託先「クッキングセンター佐賀」

【質問】 平成31年度完全給食の実施に伴う

給食調理加工配送業務委託をしており、7年もの間、学校給食を安定供給できるとい保証はない。

保護者負担はどうなるのか。

【答弁】 学校教育課長 完全給食の実施に伴

う米穀食材料費は、学校給食用等政府備蓄米交付事業を活用するため増額はしないが、32年度以降については、米穀食材料費分として一食当たり30円程度の増額を考えている。

【質問】 町長が思う、住民がいつまでも住み続けたいと思える施策とは。

【答弁】 町長 住みやすい町づくり、子育てしやすい町づくり、以上の2つにつきる。

【質問】 防災食育センターなど大きな事業を進めるうえで、長期視点に立った公共施設の統廃合や既存施設の利用変更など、財政面から早急に検討すべきと考えるが。

【答弁】 町長 大規模改修計画を作成し、総まとめをやる。他のすべての事業について、5ヶ年計画を作らせる。

【質問】 さとやま交流館と鳥獣処理加工センターの現状は

【質問】 現在までの捕獲種類ごとの処理頭数は、また、ジビエ利用頭数はどうか。

【答弁】 農林課長 イノシシでは、幼獣112頭、成獣598頭であり、ジビエ利用は、すべて成獣の119頭で約17%である。

【質問】 ジビエブームであり、町内の飲食店等でメニュー化してPRに努めるべきでは。

【質問】 農林課長 調理室利用など有料利用は520名で、イベントや広場利用などの無料利用者が2790名となっている。



ジビエブームで大手スーパーから引き合いが来た鳥獣処理加工センター

【答弁】 農林課長 販売は順調に増え、一時的に供給不足も生じたが、ブロックや半身等の販売やソーセージなどの加工品、油や廃棄品の活用など今後の課題である。

【質問】 さとやま交流館の利用状況は。

【答弁】 農林課長 調理室利用など有料利用は520名で、イベントや広場利用などの無料利用者が2790名となっている。



森田 浩文 議員

【町長】

防衛省と共に防災食育センターを進めたい

宮崎県えびの市に防衛省補助事業による「防災食育センター」の視察に伺った。

防災拠点を加味した事業計画が必要となり、非常にハードルが高い。方向性は。

町長 防衛省補助の防災食育センターの建設に舵を切りたい。

給食実施の運営面の課題も側面している。

継続保全の対策には、M&Aを用いるなど、民間手法の導入も求められると考えるが。

学校教育課長 M&Aは有事の際には公的資金の回収が困

難である。PPPの導入には可能性を感じる。

「山を守る」佐賀県新年度予算編成と中山間地振興

4488億円と大規模な佐賀県新年度予算編成が公表された。第二次山口県政は中山間地振興に注力し、11億円の対策費も計上。本町の中山間地の状況は。

農林課長 本町には、大字松隈、大字石動、上三津西及び東地区と認識している。

この地域内の人口は1284名、うち農家は96名、林業は2業者、猟師8名である。

今回の県予算は産業として第一次対象である。しかし、真の中山間地振興の課題はここで暮らす生活者支援にある。

生活に直結する土砂災害、森林荒廃、狭小の道路河川整備に対する人員不足などが挙げられる。その対策は。

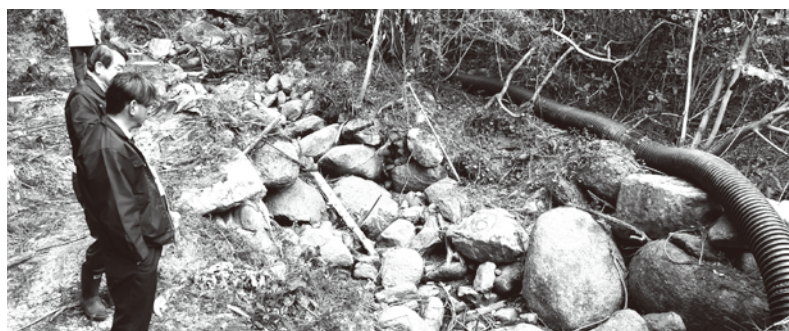
町長 地区要望を聞きながら順次、全集落の課題に対応できる予算化に取り組む。

中山間地では人口減により、地元負担で森林や用水路等の管理を行うことさえ困難である。しかし、町内に

は災害に直結する危険な狭小河川がある。土砂災害防止にはこれらの整備が必要である。

この法定外公共物の管理責任は町にある。それについての認識は。

農林課長 受益者負担が出来ない箇所は、議会と検討を行い方向性を見出した



危険な状況にある坂本地区「浦田川」

治山砂防ダムの管理状況は。

農林課長 県管理で治山ダム113基、砂防ダム21基ある。

●他の質問

○米飯給食実施にいたる経緯

○佐賀県新年度予算編成に対する本町の呼応

○トムソーヤの森リニューアル計画

○多面的機能支払い交付金等の概要



県内初のフィールドアスレチックとしてリニューアルが検討されるトムソーヤの森



吉富光三郎 議員

【町長】

前向きに検討したい

町の観光協会設立について 町長の考えは

町の観光プロモーション推進について、今現在どのような取り組みを町として行っているのか。

町長 観光協会にないない訳ではない。

現在、町内では脊振千坊聖茶まつり、夏ふれあい祭、ふるさと炎まつり、夢ロマン軽トラ市、JRウォーク、五ヶ山クロスウォーク（那珂川市との連携企画）、フットパス体験事業、蛤水道ウォーク等を行っている。

町外、県内、県外の様々なイベントにも参加してPRを行っている。

また、観光パンフレット作成、各放送局の出演、新聞掲載、旅行雑誌掲載

等を行っている。

合併して12年余りが経つが、今だに町の観光協会設立しないが、単刀直入に聞くが町長は、観光協会不必要なのか。

町長 観光協会にないない訳ではない。

まず、運営する財源、予算を町自体が準備できるかどうか、それが一番重要だと思う。近隣の設立状況を見ても、しっかりとした基礎づくりができています。

こうしたなか、町としても国営吉野ヶ里歴史公園も有しており、将来に向けては設立しなければ

ならないと思う。財政的にも健全運営できる観光協会設立に、前向きに検討したい。

ジャパンパイル工場跡地について

昭和27年、当時三田川村企業誘致

第一号の（大同コンクリート）現ジャパンパイル工場が、老朽化で平成29年3月31日で閉鎖されて丸2年経つが、町として跡地利用計画はあるのか。

企画課長 具体的な利用計画はないが、宅地としても工場用地としても立地条件が良いため、官民連携による



軽トラ市



ジャパンパイル工場跡地

宅地分譲や工業用地造成により企業誘致が最高だと考えている。

ジャパンパイル工場も現在の地に約65年間操業された、町と共に成長されたと思う。

そこで上峰町のように（イオン跡地）あの土地を無償譲渡してもらえないか。

企画課長 現在、県の企業立地課に

跡地に興味を持っている製造業の会社2、3社から引き合いがあるという情報を聞いている。製造業だと多数の雇用が期待できるので、今後も県と協力して企業誘致に取り組みたいと考える。



馬場 茂 議員

町長の施政方針を問う 31年度のメインは

【町長】

単独事業のオンパレードとなったが学校関連の費用である



無線LANの整備をやらなかったことは進まないと思うが、計画はどうなっているのか。



学校教育課長 平成31年度にICTの環境整備の構築をしていくので、まず小中学校4校の無線LANの整備をやり、学習者用タブレットを3クラスに1クラス分を配備、指導用として大型電子黒板に1台ずつ配備する。そしてICT支援員を4校に1名配置し、予算の総額は1億6867万9千円である。

2月の全員協議会の説明で31年度の2学期からスタートを希望。夏休みに無線LAN



パソコン教室



教育長 現在、電子黒板等は導入して7年が経ち、教職員の活用能力も上がっている。研修もやっていく。

町ホームページの大規模改修



トップページはインパクトが無いと中をのぞいても見えない。その対策は。



企画課長 簡単なホームページなら職員で作成できるが、構成によって皆さんが見て頂ける様な物は、プロの力を借りなければ無理なので、今回は業者に委託してインパクトのあるものにしたい。

トムソーヤの森再生



テーマパークとして整備するというのだが、マウンテンバイクの公認コースの検討はされたのか。



商工観光課長 マウンテンバイクの公認コースの検討は、31年度の当初予算で組んでいるので、31年度に入ってから、現地の測量等を行って公認コースが取れるのか基本構想を描く。



秩父市BMX公認コース



新たなブランドとして整備するというなら、九州では吉野ヶ里にしか無いと言われるコースを作ったらどうか。



町長 事業費は新年度は一億しか考えていない。公認がいいのはわかるが、現場の形状が勾配がきついので取れるかどうか分からない。

BMXのコースがどんなものかわからないから、国内にまだ数箇所しか無い公認コースを見てこれららどうか。



町長 担当に見てこさせたい。百聞は一見にしかずなので、議会からも研修にも同行してもらいたい。

糸島はテーマパークで稼いでいるので、一日でも早く進めたい。

他の質問

- 文化体育館建設事業
- 企業誘致の推進
- 役場組織の機構改革



古川 清春 議員

町立保育園・幼稚園の今後は

【町長】

公共的な保育園・幼稚園は存続させる



町立保育園・幼稚園について、民営化の考えは。



福祉課長 町内で唯一の公立保育園を当面は民営化せずに存続させる結論に至っている。



学校教育課長 本題を研究し、幼稚園教育全体の質的向上に寄与することが必要と考えている。東脊振幼稚園の民営化の考えはない。



町長 民営化に移行する考えは持っていない。

4月より各園に1名の職員の増員をする。又、人事交流等も考えている。



町立保育園の現状及び建て替え・補修について。



福祉課長 吉野ヶ里保育園は昭和47年度に建設され約46年ほど経過している。

平成32年度までに個別施設計画を作成し検討する。



保育園の補修等については危ない箇所がないかを点検をしているが、な



トイレ等については、建て替えるまでの期間に改修するか検討する。

町長 老朽化しているのは事実である。



老朽化している町立保育園



小学校に入学してからの対応が一番大切である。「一気になる子」に対する取組等は考えているか。



福祉課長 発達障がいの子の特性が明らかになるのは2歳半健診や3歳児健診で現れる。

発達障がいと疑われる場合は、保育士による相談や医療機関への紹介などを行う。



学校教育課長 最終的には教育委員会が就学先を決定するとしながらも、保護者からの意見聴取の機会の拡大が図られており、本人や保護者の意見が「入級承諾書」という形で最大限に反映される仕組みとなっている。



子どもたちには大きすぎるトイレ(町立保育園)

●他の質問

児童の虐待についての現状は

- 発覚時の処置・対応と放課後児童クラブについて
- 新年度への対応は
- 支援員等の人数は
- 支援員等のスキルアップ施策は



立石 良雄 議員

議会では弁護士事務所に 全く行っていないとの答弁だが

【町長】

議長時代 安永弁護士事務所に2回行った

不法建築物収去問題



不法建築物の車庫、倉庫、ブロック塀、立木の収去予算を議会で議決、弁護士を通して裁判に訴訟されたがブロック、立木が残っている。



弁護士、行政、どちらのミスか追求、町長は弁護士が自分の意思で上にあげずに訴訟漏れになっている、と答弁。

町長は相手側から全委任を受けていると言っているが相手側と何を頼まれ何を約束しているのか。

町長 私は相手方から3通の手紙を頂いた。

当時の用地交渉、家屋移転で行政に憤りを感じておられたので、安永弁護士事務所を2回訪ねた。



町長は、これまで1回も行っていないと答弁してきたが、これまでは虚偽答弁ではないか、議会軽視も甚だしい。

不法建築物問題も費用は行政で持たないと100年経っても解決しないと、伊東町長は前議長の時に、強制執行に伴う予算措置の議案提案に対して、予算を通じなかったら、町長自ら減俸の議案をセットで出さないと議案審議に依りられない。

と町長室に副議長と二人で出向いたか。



町長 予算の話をしに行った。



前町長からは裁判所の判決の時期が年度変わりの時であり、弁護士から予算措置が途切れないようにとの指導があり、議案を提案しているのが町長の減俸の処分の議案は該当しないと断られ、話にならなかったと言って議員控室に帰ってきた。

町長がそういう態度なら再開して否決しようと言いながら、議場に移動再開された。

前町長は長年交渉を積み上げてきたので、否決されたら取り下げと同じ



不法建築物

の代弁者としての発言や行動に対して役職をわきまえない言動で、減俸に値すると思うが。



町長 地権者との解決を図りたいと思っている。

町費を使わないでいいように、税金を使っているといけないとは思っている。



生島信一郎 議員

我が町の農業の未来像は

【町長】

補助金含め農家育成をどのような形でやっていくか検討



農業者の担い手不足は全国的な課題だが、本町の農業実態はどうなっているか。



農林課長 町内農業従事者の平均年齢は2015年の資料で67.5歳となっている。

新規就農者の数は親元就農の数は不明だが、認定新規就農者は平成28年度が2名、29年度が1名、30年度は0名となっている。

また、耕作放棄地は29年度が約120haだったのが30年度は約134haと大幅に増加している。

数字を聞いても事態の深刻さが伺えるが対応策は考えているか。



農林課長 アグリチャレンジ相談会を定期的に開催し、新規就農希望者へ農業大学校や先進農業研修、農業次世代人材投資資金を活用した所得補償制度などを紹介している。



農業次世代人材投資資金の活用は45歳と年齢制限がある。

他の自治体では対象外の人でも就農を目指す制度を実施しているところもあるか。



農林課長 現状では新規就農以外でも国の補助事業に合致しない人でも産業振興対策事業として機械取得等に

対しては4分の1補助などを実施している。

ただ、新規就農の人への独自の補助は行っていない、これについては今後勉強させてもらいたい。



町長 アスパラなど一部品種の農業に挑戦したいという意欲がある人がいるのであれば、助成を検討してみてもいいと考える。

本町では54歳で定年を迎える自衛隊員の人がいる。

彼らの退官後に就農を考えてもらえるよう働きかけてはどうか。

農林課長 自衛官の方は50代と若くして定年を迎えられ、体



急激に増加している耕作放棄地

方面でも恵まれた方が多く、農業にとって大変魅力的な人材だと思う。定年後の進路として農業に興味を持っていただけるよう今後PRを行っていききたい。

共乾施設統合について



6月議会で町内5共乾施設を2つに集約する方針を示していたが進捗状況は。



農林課長 J Aさんが作成した「共



老朽化がすすみ統合が検討されている共同乾燥施設

同乾燥調整施設再編マスタープラン」に沿って、J Aさんが主体となって進められているが、共乾代表者との協議で枠組み再考を求める意見が出ており、J Aさんが意見をもち帰って検討している。J A内部の検討結果を待って再協議に臨みたいと考えている。

他の質問

○小中学校の人員配置について

第6回 議会報告会 を開催します

町議会で話し合われたこと、決まったことなどを議員が直接わかりやすくお伝えします。

皆様の多数のご参加をお待ちしております。

開催日 5月11日(土)

時間 10時～12時

場所 きらら館
(東脊振庁舎北側)



議会の主な活動

12月
5
2月

一般質問(～6日)

第12回少年の主張大会

12月定例会議案審議・閉会

議会広報編集特別委員会、三田川中大人としやべり場

議会全員協議会、三水会

天皇即位30年をお祝いする県民集会

議会広報編集特別委員会

消防団年末警戒巡回

年始交換会

消防団出初式、成人式

議会広報編集特別委員会、陸上自衛隊目達原駐屯地成人式

議会広報編集特別委員会、全員協議会

東部環境施設組合打合せ

青少年育成町民会議研修会

県道神埼北茂安線整備促進期成会要望活動

東脊振中立志式

神崎市吉野ヶ里町葬祭組合議会全員協議会

吉野ヶ里町剣道大会、北方領土返還要求県民集会

中部広域連合議会勉強会、同和問題神埼地区研修講座

全国議長会基地協議会総会(～6日)

三田川中立志式

東部環境施設組合打合せ

後期高齢者医療広域連合定例会勉強会

中部広域連合2月定例会(～18日)

後期高齢者医療広域連合2月定例会

県議長会定期総会、議会運営委員会

全員協議会、葬祭組合・脊振塵芥処理組合・三神環境事務組合定例会

えびの市防災食育センター視察

空き家対策協議会

東部環境施設組合事務打合せ、議会運営委員会

社会福祉協議会理事会、東部環境施設組合定例会

臨時全員協議会

自治功労者表彰

平成31年2月6日

次の通り表彰が決定いたしました。

○全国町村議会議長会

会長表彰

【議員15年以上】

伊東 和孝

○佐賀県町村議会議長会
会長表彰

【議員19年以上】

筒井 佐千生



編集後記

時の流れは速いもので、選挙から一年が過ぎました。この数年一年がものすごく短く感じるようになりましたが、先日NHKの『チコちゃんに叱られる』の番組で、一年が早いと感じるのは「人生にトキメキがなくなつたから」だそうです。たしかに子供の頃はいろんな物事に感動、トキメキを感じた事を思い出された。今年は新元号が『令和』となり、改めて今後の議会活動・私生活に悔いを残さずトキメキを忘れず人生を楽しんでいきたい。

今後とも議会・広報活動に関心を持っていただきますようお願いいたします。

(光英)

○議会広報特別委員会

委員長 森田 浩文

副委員長 馬場 茂

委員 立石 良雄

多良 光英

古川 勲

古川 清春